様式３(2015.06改)

作成日　令和元年11月26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400187
事業所名	グループホーム　きらめき

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	積極的に地域交流に努め、地域の回覧板で周知を図り、「認知症カフェ」を開催している。 他法人の「認知症カフェ」に出掛けたり、地域の夏祭りや地域清掃、防災訓練にも参加し、双方向の交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	併設施設や近隣のデイサービスと合同で、利用者・家族・地域包括支援センター・民生委員等が出席して運営推進会議を開いている。 ホーム運営の状況報告や毎回テーマを決めての討議を行い、サービス向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センターの主催する学区福祉交流会、事業所協議会の幹事として区の「認知症カフェ周知イベント」、「介護事業所連絡会」に参加して交流を図り、協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の来訪時や運営推進会議で、意見や要望を聞き取っている。 職員は誰もが対応可能で近況を伝えることができる。 「不満だった点が改善」、「職員の対応がとても良い」、「信頼感が増している」など、家族から好評を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	×	×	○